



2024年11月12日
第76号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



11月12日 緊急全機関代表者会議

申4号 2024年度年末手当に関する申し入れ 職場実態と乖離した会社回答に怒り！怒り！怒り！

11月12日、申4号「2024年度年末手当に関する申し入れ」の第3回団体交渉が行われ、横浜地本は、12日に「緊急全機関代表者会議」を開催しました。

参加者からは、会社回答に対し「驚愕」「ふざけている」「声にならない」「都合の良い時だけコロナを理由にするな」などの怒りと落胆の声が多く出されました。

会議で出された主な意見

- ・ +0.1 ヶ月程度では、物価上昇分にすら満たない。憤りを感じる。物価上昇してなければ0.1 ヶ月がないということ現場の実態と乖離している。
- ・ 経営幹部こそもっと働け、何も幹部は仕事していないじゃないか。と組合員の声があった。
- ・ 3.0 ヶ月は出ると思っていた（未加入者）。なめている。会社は言い訳ばかりで納得感なし。
- ・ 物価上昇を考えれば実質マイナス。生活実感がぜんぜん分かっていない。
- ・ 回答書を見て全くモチベーション上がらない。「特に+0.1 ヶ月」のところが恩着せがましい。0.1 ヶ月分が生活向上？社員の頑張りには月2,500円くらいなのか。
- ・ 手当がない職種、生活給になっている。仕事が増えているのに全然お金増えない。これ以上頑張れない。低所得者認定されている家族もある。本当に大手企業なのか。
- ・ +0.1 ヶ月、2.8 ヶ月だと平均基準内賃金100万超えないが、+0.1 ヶ月で100万超える。
- ・ ずっと低額回答が続いている。出せるのに出せない会社の目的は、「新人事賃金制度」もあるだろう。社宅15年ルールで出費が大きい。
- ・ 会社の経営陣が、社会をけん引していくというリーダーシップがみられない。本当にJR東日本会社の意思として決めているのか？外郭団体等からコントロールされているのではないか。
- ・ 少子化で機械化、システム化していくが、そもそも少子化の一因が低賃金によるものもある。



中央本部緊急アンケート実施→→→
過去最高の働き度に賃金が追いついていますか？
皆さんの声もお聞かせください！

